

## 食品安全委員会の5月の運営について（報告）

### 1．食品安全委員会の開催

#### 第93回 5月6日（金）

- ・食品健康影響評価の要請（添加物「ヒドロキシプロピルメチルセルロース」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価（添加物「ナタマイシン」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（土壌残留に係る登録保留基準の見直しについて、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を環境大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（動物用医薬品「豚ボルデテラ感染症不活化・パストツレラ・ムルトシダトキソイド混合（油性アジュバント加）ワクチン（日生研ARBP混合不活化ワクチンME）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の4月の運営について（報告）
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（4月分）

#### 第94回 5月12日（木）

- ・食品健康影響評価（特定保健用食品3品目 「ラクチールガムストロングミント」、 「ラクチールガムマイルドミント」及び 「アミールS 健康野菜100」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（農薬「ジノテフラン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

#### 第95回 5月19日（木）

- ・食品健康影響評価（動物用医薬品2品目 「リン酸チルミコシンを有効成分とする製造用原体（リン酸チルミコシン20%（原薬））及び豚の飼料添加剤（動物用プルモチルプレミックス-20、同-50、同-100）」及び「鶏の産卵低下症候群 - 1976（油性アジュバント加）不活化ワクチン（オイルバックスEDS-76、EDS-76オイルワクチン-C及び日生研EDS不活化オ

イルワクチン)」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を農林水産大臣に通知)

- ・食品健康影響評価(調製粉乳にセレウス菌の規格基準を設定することについて、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告(動物用医薬品「塩酸ジフロキサシンを有効成分とする製造用原体(塩酸ジフロキサシン)及び豚の飲水添加剤(ベテキノン可分散25%)」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・牛海綿状脳症(BSE)確定診断の結果について(厚生労働省からの説明)
- ・食品健康影響評価技術研究について報告(研究運営委員の構成を常勤委員4名、立松専門委員(化学物質専門調査会座長)、吉川専門委員(プリオン専門調査会座長)及び池上専門委員(遺伝子組換え食品等専門調査会及び新開発食品専門調査会)とし、座長を寺尾委員長代理とすることを決定するとともに、構成員に企画専門調査会又は広く社会経験のある研究者以外の者を加えることを決定)

#### 第96回 5月26日(木)

- ・食品健康影響評価の要請(現在の米国の国内規制及び日本向け輸出プログラムにより管理された米国から輸入される牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合と、我が国でとさつ解体して流通している牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合の牛海綿状脳症(BSE)に関するリスクの同等性及び現在のカナダの国内規制及び日本向け輸出基準により管理されたカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合と、我が国でとさつ解体して流通している牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合の牛海綿状脳症(BSE)に関するリスクの同等性)に関する厚生労働省及び農林水産省からの説明
- ・食品健康影響評価(ポリ乳酸を主成分とする合成樹脂製の器具又は容器包装について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告(農薬「カズサホス」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・企画専門調査会に対し、平成16年度食品安全委員会運営計画のフォローアップ及び平成16年度食品安全委員会運営状況について、食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の候補について並びに平成17年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について、調査審議を求めることを決定
- ・食品安全モニターからの報告(4月分)について
- ・食品健康影響評価技術研究運営委員会の開催について報告(研究運営委員会の構成員として企画専門調査会の佐々木珠美専門委員を追加推薦し、8名とすることを決定)

## 2 専門調査会の運営

### (1) 緊急時対応専門調査会

第11回 5月10日(木)

- ・フレデリック・アンギュロ博士(米国疾病管理予防センター)による講演(「米国の食品媒介疾患サーベイランスとケーススタディ」)

### (2) 添加物専門調査会

第21回 5月17日(火)

- ・「加工デンプン(アセチル化アジピン酸架橋デンプン、アセチル化リン酸架橋デンプン、アセチル化酸化デンプン、オクテニルコハク酸デンプンナトリウム、酢酸デンプン、酸化デンプン、ヒドロキシプロピルデンプン、ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン、リン酸モノエステル化リン酸架橋デンプン、リン酸化デンプン及びリン酸架橋デンプンに限る。)」について検討
- ・「ナタマイシン」について、国民からの意見・情報の募集結果を踏まえて検討。本件に関して、食品安全委員会に報告することを決定

### (3) 農薬専門調査会

第30回 5月25日(木)

- ・「オキサジアルギル」及び「ピリダリル」について検討。に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

### (4) 動物用医薬品専門調査会

第27回 5月13日(金)

- ・「塩酸ジフロキサシンを有効成分とする製造用原体(塩酸ジフロキサシン)及び豚の飲水添加剤(ベテキノン可溶散25%)」及び「フルニキシンメグルミンを有効成分とする馬の消炎鎮痛剤(バナミン、バナミン注射液5%)」の再審査について検討。に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定
- ・「リン酸チルミコシンを有効成分とする製造用原体(リン酸チルミコシン20%(原薬)及び豚の飼料添加剤(動物用プルモチルプレミックス-20、同-50、同-100)」について、国民からの意見・情報の募集結果を踏まえて検討。本件に関して、食品安全委員会に報告することを決定

### (5) プリオン専門調査会

第24回 5月9日(月)

- ・肉骨粉の焼却灰及び炭化物、並びに蒸製骨粉の製造過程で生ずるにかわかすの肥料利用について検討
- ・我が国における牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに係る食品健康影響評価結

果について、食品安全委員会に報告し、了承され、厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知したことを報告

第25回 5月31日(火)

- ・肉骨粉の焼却灰及び炭化物、並びに蒸製骨粉の製造過程で生ずるにかわかすの肥料利用について検討。肉骨粉の焼却灰及び炭化物の肥料利用に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定
- ・米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について検討(厚生労働省及び農林水産省からの説明)

(6) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第27回 5月30日(月)

- ・「除草剤グルホシネート耐性ワタ L L C o t t o n 2 5 」、 「ワタ281系統」、 「ワタ3006系統」、 「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B . t . C r y 3 4 / 3 5 A b 1 E v e n t D A S - 5 9 1 2 2 - 7 」及び 「L - アルギニン」について検討。 及び に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(7) 新開発食品専門調査会

第23回 5月23日(月)

- ・特定保健用食品3品目( 「ガイオタガトース」、 「リメイクコレステブロック粒」及び 「燕龍茶レベルケア」)について検討。 及び に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

5月11日(水) 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 米国における食品媒介疾患と薬剤耐性菌の現状と最新知識 -

- ・食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 米国における食品媒介疾患と薬剤耐性菌の現状と最新知識 - 」を開催。フレデリック・アンギュロ博士(米国疾病管理予防センター)から米国における食品媒介疾患と薬剤耐性菌の現状と最新知識についての講演を行ったほか、会場参加者との意見交換等を実施